

交流会レポート

知的財産管理技能士会 交流委員会

2015年3月28日(土)、金沢工業大学大学院・虎ノ門キャンパスにおいて、知的財産管理技能士会・第16回交流会「飯村先生を囲む会」が開催されました。今回の交流会レポートでは、基調講演・グループ交流・懇親会の模様をご紹介します。

1. 基調講演

知的財産管理技能士会より開会の挨拶と報告を行った後、「最近の知的財産権訴訟の実情について」という演題で、ユアサハラ法律特許事務所の弁護士である飯村敏明先生による基調講演が行われました。

飯村先生は、元知財高裁部総括判事長兼所長というご経歴をお持ちであり、知的財産に関する係争について、幅広く、かつ、深いご見識をお持ちであるためか、72名という、稀に見る多くの参加となりました。

約1時間にわたる基調講演においては、裁判



所の構成や最近の傾向等に始まり、ボールスプライン軸受事件におけるクレーム解釈の問題や、最近の裁判例が紹介され、また、不正競争防止法に関する係争の実情についても簡単に紹介があり、1時間という限られた時間ではありましたが、とても有意義な講演となりました。

2. グループ交流

基調講演終了後、参加者は8名ずつの小グループに分かれ、グループ毎に自己紹介と名刺交換を行った後、基調講演の内容に関する議論や自己の業務紹介など、グループ毎に様々な内容



で交流を図りました。グループごとに自由なディスカッションが繰り返され、中には、お互いの業務内容について熱心に質問し合うといった活発なグループもあり、グループ交流の時間が約1時間では足りないようにも見えました。しかし、時間が限られているからこそ、参加者がより積極的に交流を図れたのかもしれません。



参加者からは、「基調講演終了直後に会場を去ろうとしたが、グループ交流に参加して有意義だった。自分の業務は特許には関係ないため、グループ交流は自分にはレベルが高いと思ったが、実際に参加してみたら、とても楽しかった。」というコメントも聞かれました。

グループ交流後は、グループ毎に得られた質問に対し、飯村先生からコメントをいただく時間を設け、積極的な質問が多く寄せられました。例えば、ボールスプライン軸受事件における均等の第4要件に関するものや、飯村先生のキャリア形成に関するもの等です。全てを取り上げ

ることはできませんでしたが、活発な質疑応答は、飯村先生のご講演がいかにも有意義であったかを示すと同時に、活発なグループ交流の結果であったと感じます。

3. 懇親会

近くにある居酒屋に移動しての懇親会には、約30名の方が参加、お酒も入り大いに盛り上がりました。単なる異業種交流の場ではなく、知財という共通言語を持った知財技能士の集いであり、話題に詰まることなく、各テーブルにおいてとても会話が弾んでいました。宴の最後には、今回の飯村先生を囲む会を開催するに至った経緯を、アレンジしてくださった中村知財技能士にご説明いただきました。

アクティブな学びの時間と、フランクな懇親会がセットになって、交流会がより充実したものになるとつくづく感じた次第です。

(交流委員長 富重)

知的財産管理技能士会・交流会のご案内

<http://www.ip-ginoushikai.org/koryukai>

*これまでの実績や今後の予定は上記ウェブをご覧ください

知的財産マネジメントに関する国内外の最先端の情報が満載の知財専門誌

『IP マネジメントレビュー』 知的財産教育協会 発行

知的財産マネジメント実務で活躍する国家資格・知的財産管理技能士ならではの視点で独自に記事を企画・制作しています。

創刊：2011年3月1日 発行形態：3・6・9・12月発行（年間4号）
 A4判 PDF形式定価1,200円（税別）・冊子版定価1,500円（税別）*定期購読あり